



わかまつ



学校教育目標

一豊かな心と確かな学力を育む若松小一
・進んで学ぶ子 ・思いやりのある子 ・たくましい子

特色ある学校づくり

「地域とともに歩む学校づくり」をめざします

校長 伊藤 公雄

笑顔で過ごせる夏休みを

学校は休みになりますが、子供の「学び」がお休みになるわけではありません。この時期にできる学習や、この時期にしかできない体験等を通して、一回り大きくなった子供たちにまた会いたいと思います。

学期末のまとめの時期、子供たちは学期当初に掲げた目標を振り返り、自身の成長を感じることができたことと思います。通知表を手渡す時には、担任は子供たち一人一人に対し、最後まであきらめずに頑張ったことを称賛したり、次の目標に向けて激励の言葉をかけたりします。

学校 HP に掲載している『[通知表「あゆみ」について](#)』を改めてご確認いただき、子供の意欲につながるような声かけをお願いします。

通知表を受け取ると、学力ばかりに目がいつてしまうこともあると思います。他人と比較したり、前回と比較したり、「よくできる」の数で一喜一憂したりしてしまいます。確かにそうではありますが、それだけではありません。

本校では、「豊かな心」も大切にしています。友達とのかかわり、最後まであきらめずに努力すること、クラスの中での活躍、当たり前のことができること等々、心の教育に関しては、保護者の思いもあることと思います。ぜひそう言った観点からも、子供との会話で伝えてあげてください。

★1日のスケジュールを立てましょう。

学校では、45分間の授業を1コマとして、チャイムで時刻を明らかにしながら、

1日を過ごしています。家庭の「時間割」を作ってみるといいかもしれません。高学年ならば、自分で決めることもできるかもしれません。

★家庭でのルールを決めましょう。

学校には、『[若松小のよい子の約束](#)』があり、長期休み前には『[長期休みを迎えるにあたって](#)』を配布し指導しました。他にも様々なきまりがありますが、これらはみんなが気持ちよく過ごせるために定められています。

家庭でのルールはいかがでしょうか。高学年ならば、子供と一緒に考えることもできるかもしれません。子供の考えを聞いたうえで、一緒に作っていただければと思います。しかし、心身の発達や安全に関するルールは、保護者が主導していくことも考えられます。

罰が伴うような禁止ルールは避け、「～しましょう」のような肯定文で終わるルールで、守ることが楽しくなるようになっていくのではないのでしょうか。

夏の思い出を聞かせてください。

保護者と一緒に、クロームブックから入力してみてください。

→[回答フォームへ](#)